

制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト推進委員会 第1回小委員会 準備会

1 目的

「制度の狭間にある福祉課題・生活課題解決への協働プロジェクト」では、推進委員会参画法人等から寄せられた、制度の狭間となっていて支援の手が届いていない福祉課題・生活課題への「気づき」をもとに、今後、その課題解決に向けた委員会活動・モデル事業等をすすめていく予定です。

第1回小委員会準備会では、平成28年度モデル事業（県経営協実施）で「地域における公益的な取組」を実際に推進されている法人の取組事例を学ぶとともに、今後、本プロジェクトで具体的に取組む事業内容を検討するために開催します。

2 参加対象

- ・協働プロジェクト推進委員会 参画法人の委員及び関係職員
- ・県内全ての社会福祉法人（施設経営法人）で、地域公益活動に関心のある方

3 期日

平成29年12月21日（木） 13:30～16:00 （受付12:45～）

4 場所

和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4階ホール B（和歌山市北出島1丁目5番47号）

5 内容

（スケジュール・時間配分は若干変更する場合があります。）

実践発表 （質疑含む） 【80分】	（1）各法人の取組事例から学ぶ	
	平成28年度モデル事業実施法人の取組事例から、社会福祉法人が公益的な活動に取り組む意義、ニーズ把握の方法、地域との連携等、その具体的な推進方策について共有し、勉強会的に意見交換を行います。	
	紀三井寺苑ふれあい教室、小学生の居場所づくり	（社福）紀三福社会
	子ども・若者の貧困対応ネットワーク準備推進事業	（社福）一麦会
協議 【70分】	（2）協働プロジェクトで取り組む具体的な事業内容の協議	
	参画法人から寄せられた福祉課題・生活課題（気づきシート）をもとに、今後、本プロジェクトで具体的に取組む事業内容を検討します。	
	①福祉課題事前アンケート（気づきシート）結果の共有	
	②具体的（事業別・課題別）小委員会（例えば、居場所づくりや認知症カフェ小委員会等）あるいは、市町村域・小地域、広域（県域）で取り組む小委員会の検討	

【社会福祉法人紀三福社会の実践】

紀三福社会では、平成17年度から10年以上にわたり、地域の小学生や高齢者等を対象に「ふれあい教室」を開催。今後は、地域の民生委員等との連携を図りつつ、子ども食堂や高齢者の食事を企画し、住民と福祉を繋ぐ「困りごと相談の拠点」になるため取り組んでいます。

【社会福祉法人一麦会の実践】

一麦会では、全国的に増加する子ども・若者の貧困問題について考えるため、関係機関連携による「子ども・若者の貧困問題を考えるネットワーク会議」を設立。紀の川市粉河地区にある古民家・山崎邸を活用して「山崎邸子ども祭り」を定期的で開催し、ひきこもりや失業状態にある若者の居場所づくり・自立支援と、地域の子どもの居場所づくり（相談支援）に着手しています。